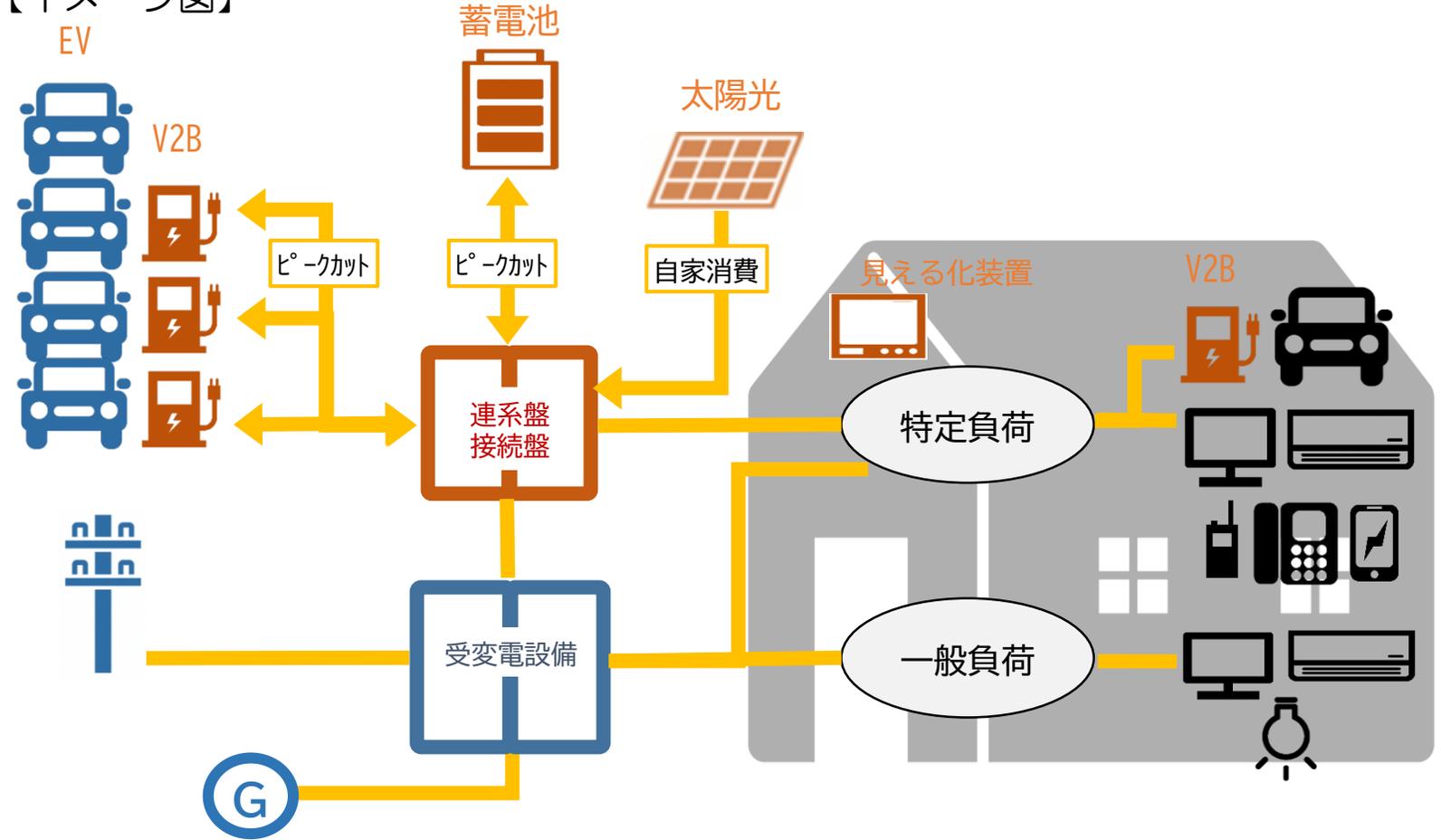


庁舎非常用電源（VPP）整備について

温室効果ガスの排出抑制には、脱炭素社会の実現に貢献できる実践的、戦略的なエネルギー利用や減災・防災などの視点からも検討が必要です。こうした視点のもと、令和4年度に災害対策の拠点となる市本庁舎において、防災機能の向上と環境負荷の軽減を目的に、VPP機能を有する非常用電源の整備を行います。これは持続可能な社会を目指すSDGsの取り組みにも資するもので、令和5年1月からの運用開始を目指しております。

【イメージ図】



【システム構成及び機能】

庁舎非常用電源は太陽光パネル、蓄電池、EV（電気自動車）、既設の非常用発電機などから構成されます。これら複数の電源をコントロールしながら、外部からの電力供給が途絶えた際には、非常用電源として必要箇所へ電力を供給し、平常時には自家発電及びピークカットなどのエネルギーマネジメントを行うことで、電力使用の平準化と温室効果ガスの排出抑制を図ります。

※イメージ図の◎は既設の非常用発電機